

ピスガからの風

第18号

2008年1月

社会福祉法人 近江ちいろば会

ピスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4

TEL.0748-74-3900 (代表)

FAX.0748-74-3910

http://chiiroba.jp/

「ピスガホールギャラリー」

地域の多くの方に
出展いただきました。

作品(絵画・書道など)の展示品を求めています。
1ヶ月程度展示いただければ幸いです。

10月 秋ゆうゆう展

菩提寺及び周辺の芸術家による作品展で、
それはすばらしい感動を与えて下さいました。



12月 菩提寺北中学校の皆さん

若さ溢れるパンチのある色彩で
青春を思い出させてくれました。



“赤い羽根共同募金”の配分 ありがとうございました

この度、多くの皆様から寄せられた、赤い羽根の
寄附金により「ピスガこうせい」の予備給湯ボイラ
ーを設置することができました。

現在のボイラー
と併用することにより、ご利用者様に
毎日の入浴や給湯の提供を安心して
行えるようになりました。本当に
ありがとうございました。



後援会の皆様 ありがとうございました

後援会より新しい「中央デイサービスセンター
しんあい」の送迎車を寄付していただきました。



寄付金・後援会費 感謝報告 2007年8月～2007年12月まで

2008年も後援会へのご加入をお願い申し上げます。
ご協力頂いております方々のご芳名を掲載し、報告と
お礼とさせていただきます。

(順不同・敬称略)

【後援会費】

アシュラムセンター
イエスキリスト広野教会
上柿 京子
上島 良彦
内川 庸子
内海 初子
大泉 静代
岡澤 ときの
片谷 美智子
勝目 紘
加藤 和子
加藤 喬子
川上 昭子
金 淑子
九重 武子
近藤 喜美子
齋藤 昭夫
作野 勲子
佐田 順子
鈴木 真志
鈴木 一隆・妙子
鈴木 儀平
扇田 幹夫・紀子

多賀 敦子
同志社教会
立石 勤
田中 ミドリ
茶畑 重二
辻 康
徳田 富美子
とみおか内科クリニック
中澤 シツエ
登 政義
萩原 正夫
八子 忠明・美代子
林 栄子
原田 潔
原田 博充
東嶋 和代
日吉 文子
廣瀬 幸一
堀尾 勝世
本田 和之
真壁 日史郎・泰子
眞柄 正子
南 俊子
森口 茂

【寄付金】

河本文京福祉
振興局
奈良 馨夫
坂 しづ江
高田 和代
後援会 後宮 俊夫
草津教会
バザー委員会
信愛幼稚園



事業内容

ケアハウス：ピスガこうせい/
ぼだいじデイサービスセンター
／ぼだいじホームヘルパーステ
ーション／ぼだいじ居宅介護支援
センター／高齢者支援センター
ぼだいじ／グループホームぼだ
いじ／中央デイサービスしんあい

発行日 2008年1月
発行責任者

理事長 奈良 馨夫
館長 森口 茂

振込
後援
口座
会費

取り扱い金融機関 郵便局
口座番号 0960-0-109363
社会福祉法人 近江ちいろば会
会費：年額1口 5,000円(何口でも可)

明けましておめでとうございます。



理事
後宮 俊夫

最近の広い意味の福祉、
特に高齢者を巡る世論や
政治の動きは、高齢者やそ
の家族・関係者にこの先ど
うなるのか見通しが立て
られません。20年近く前に、
この地にケアハウスを主
体とする老人福祉事業を

計画、建設したときから見るとあまりにも目まぐるしい
変化に驚くばかりです。

計画の当初、バブル期に人々は収入の増加に如何に幸
せに暮らせるかに懸命でした。そうした中に戦後の窮乏
生活からの立ち直りに必死に働いた人たちが加齢と共に
衰え、効率が悪くなると社会的に疎外されるようにな
りました。この人たちの生活を守ることが、イエス・キリ
ストの望んでおられることと信じて、当時の教会の経済
的に置かれている財力で何が出来るかを考える中で、

キリストが導かれたのが「近江ちいろば会」の事業な
のです。入居者がお互いに自分の出来ることで助け合
っていくなら、皆がここで最後まで生活できるだろう
と喜んでいました。

現実には、共同生活をする、助け合っていくこと
が身体的にも精神的にも難しくなってきました。それ
にその後の老人の生活は社会保障の切り下げなどで困
難の度を増しました。本人の年金だけでケアハウスの
生活が賄えない人が多くおられます。そして更に受益
者負担の名の元に個人の負担は増えるばかりです。

その上、少子高齢化で働き人が少なくなっています
ので、もう一度お互いに助け合っていくことを考えな
くはならないように思います。



グループホームの 一泊旅行

11月29～30日



詳しくは見開きをご覧ください

クリスマス ページェント

12月19日



基本理念：人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。

私たちはキリスト教の精神に基づいて、高齢者の全生活において、「隣人愛の奉仕」を実施することを基本理念とします。

グループホーム 一泊の「和」・「輪」



11月29、30日にグループホームの一泊旅行に行ってきました。はやいもので、今回で4回目をおかえることができました。今回の旅行も、今まで同様、楽しく過ごすことができたのですが、それともうひとつ、「良かった」と感じることがありました。

今年も去年に引き続き、18名の入居者様全員に参加して頂くことができ、また、職員もほぼ全員が一緒に行くことができました。ご家族様も毎回ご参加下さる方々も増え、そのおかげか、ご家族同士でお話されている姿も多く見られました。普段はゆっくりお話することのできないご家族様と、お話したり、入居者様の昔の様子など、意外なお話を聞かせて頂けたりと、得るものも多い旅行でした。

今までと大きく変わってきたと感じたのは、夜の宴会の時のことです。毎年、カラオケで盛り上がるのですが、今年はご家族様がとても積極的で、次から次へと歌が続き、歌の切れ目がないくらいでした。去年までだと、事前にチェックしておいた入居者様の得意な歌を繰り返し歌い、合間にご家族様にも歌って頂くようお願いするのですが、遠慮される方が多く間が空いてしまうこともありました。しかし、今年はそんな心配は全くありませんでした。今までの旅行で顔なじみになられたようで、それほど遠慮されることもなく、のびのびと歌って頂けたのではないかと思います。

このような楽しい一泊旅行でしたので、さらに多くのご家族様に次回にご参加いただければ、より楽しいものになると思います。

2日目の朝、あるご家族様が、「もう一泊したいわ」と言われたそうです。普段は別々に暮らしてられる入居者様と一晩を共にされ、トイレの介助や、場所が変わったことによる混乱などもあっただろうし、もしかすると十分な睡眠がとれず、お疲れの旅行だったかも知れないと思うのですが、最後には、「もう一泊」と言って下さったことは、とてもうれしく思いました。

11月29日～30日 近江八幡市のウェルサンピア滋賀での 一泊旅行



今、入居者様のほとんどは、いつもと変わらない時間を過ごしておられるのですが、ふとした時に「楽しい時間があった」ことを思っただけだと思います。

ボランティアさん ありがとうございます



ほだじデイサービスセンターは、2007年も地域の方々に支えられ、無事新年を迎える事ができました。本当に有難うございます。

振り返れば一年を通して、多くの地域ボランティアの皆様に来訪頂き、力強い活動と心温まる交流でご協力頂いたことは、デイサービスセンターにとって何より大きな財産です。

その中には、ご利用下さっている方のご家族様、ボランティアセンターからの紹介、地域のサークルで活躍されている方、来訪下さったボランティアさんからの紹介、それに職員の習い事の先生もおられ、ボランティアさんの輪が広がった一年でした。

2008年も、昨年同様よろしくお願い申し上げます。

クリスマス会 クリスマスコンサート

20日(木)には、ケアハウス一階ロビーにてボランティアグループ“こんご舎”13名の皆様による二胡の演奏会を開催いたしました。

二胡から奏でられる音色は、どこかなつかしいような、癒されるような心地よいもので、自然に二胡の世界に引き込まれていきました。

入居者様に親しみ深い曲も数多く盛り込まれており、二胡というあまり目にした事のない楽器でも一緒に歌うことができ、とても楽しいものとなりました。



クリスマスページェント 信愛幼稚園の方々へ...



毎年この季節には信愛幼稚園との交流を持たせていただいています。今年も19日(水)デイサービスセンター虹に、かわいい園児さんが来てくれました。

園児の皆さんたちが一生懸命に披露している姿を見て、どの方も普段とはまた違った笑顔を園児さんたちに向けておられ、園児さんたちからのひとあし早いプレゼントを楽しまれておられました。

また、突然サンタクロースもやってきて、喜び園児さんたちの笑顔から、入居者様はたくさんの元気をもらわれたようでした。

ボランティアさん募集

◆法人では多くのボランティアさんの応援をお待ちしています。

- ・お話・傾聴ボランティア
- ・園芸ボランティア
- ・歌・楽器演奏のボランティア
- ・その他いろいろお声がけ下さい。